

# 佐賀県国際交流協会

## SPIRA の取組み

### ー生活支援を中心にー

2023. 2. 22

佐賀県国際交流協会 SPIRA  
理事長 黒岩春地

# SPIRA (佐賀県国際交流協会)

Saga Prefecture International Relations Association

- 設立 1990年(平成2年)2月7日
- 住所 佐賀県佐賀市白山2-1-12 佐賀商エビル1階
- 職員 14名(多文化共生事業9名、国際交流プラザ5名)
- スローガン 「心の国境をなくそう！」

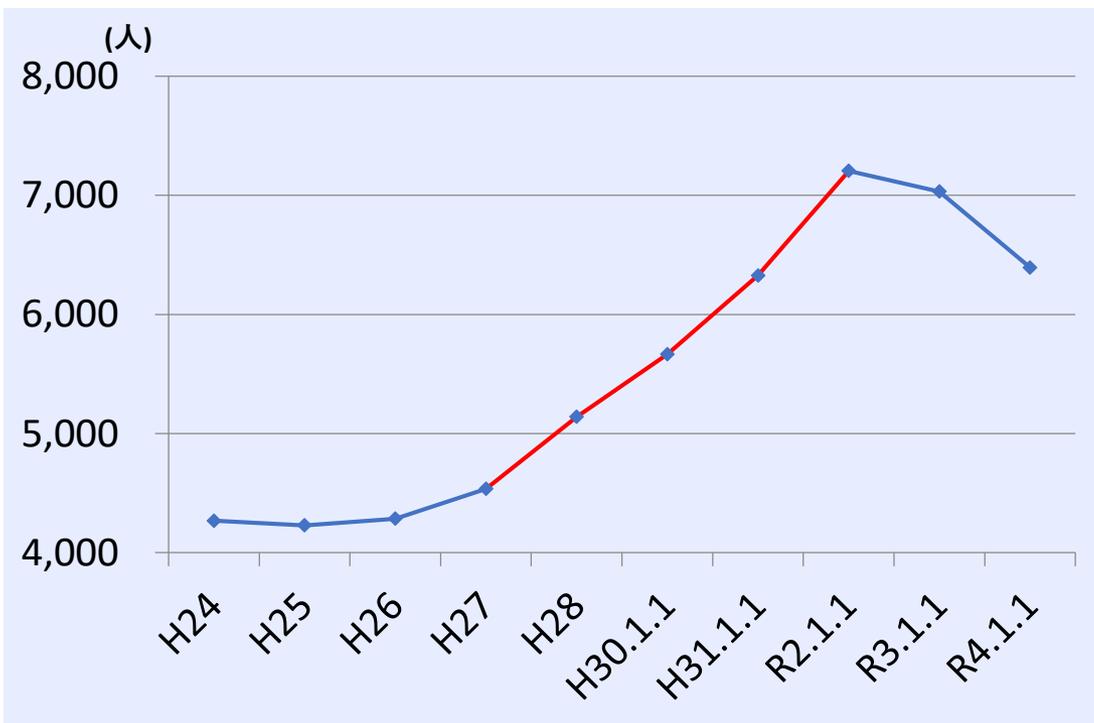
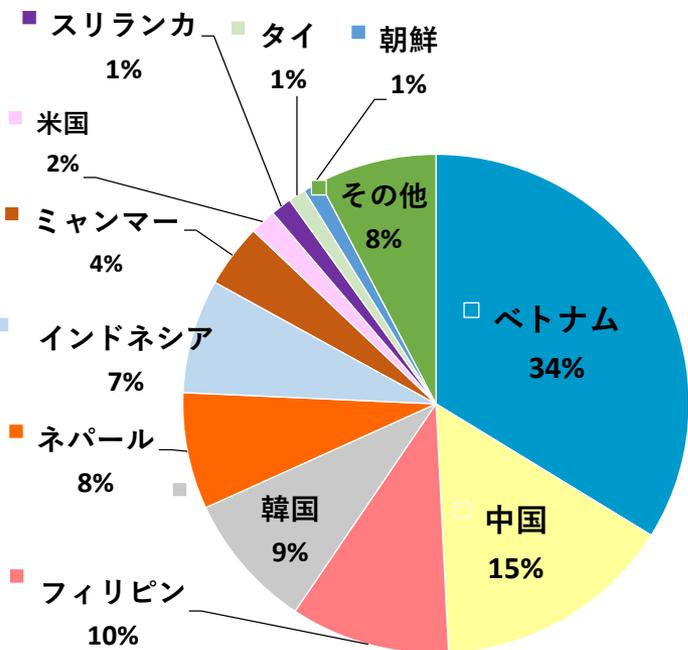
*Free Your Heart of Borders!*

心の国境をなくそう！

# 佐賀県の在住外国人の現状（総数および推移）

H24～H28 12月末現在, H30～1月1日現在（人）

年次	H24	H25	H26	H27	H28	H30.1.1	H31.1.1	R2.1.1	R3.1.1	R4.1.1
人数（人）	4,268	4,229	4,285	4,536	5,140	5,666	6,338	7,204	7,027	<u>6,394</u>



- H27以降大きく増加したが、R3以降はコロナの影響で減少（H27→H28：604人増、H30.1.1→H31.1.1：672人増、H31.1.1→R2.1.1：866人増、R2.1.1→R4.1.1：810人減）
- R4.1.1現在、県人口の約0.8%を占める（県内人口 812,193人）
- 国籍別ではベトナムが最も多く、次いで中国、フィリピン、韓国、ネパール、インドネシア
- R3、R4はコロナの影響で全体的に減少。ミャンマー（14人↑）、スリランカ（20人↑）は増加。（カッコ内はR3.1.1とR4.1.1の比較）

# 外国人への生活支援（基本無料）

- 多言語（9言語）による情報発信
- 日本語教室支援
- 医療通訳派遣
- 子供日本語学習支援
- 生活相談（外国人総合相談窓口：「さが多文化共生センター」）
- 新型コロナ対応支援（コロナワクチン接種サポート等）
- 災害時支援（「災害多言語支援センター」）
- ウクライナ避難民生活支援

# 1 外国人総合相談窓口



# 3 災害多言語支援センター



# 2 コロナワクチン接種サポート



# 4 ウクライナ避難民受入れ



# 外国人総合相談窓口「さが多文化共生センター」

2名の相談員で年間340件の相談に対応。今年度は対前年3倍弱の伸び。このペースで行くと800件を超える



相談の方法  
You can consult with us in various ways.

**SNS**  
LINE ID: @921uckas  
Messenger SpiraSaga

Tel ▶ 0952-22-7830  
E-mail ▶ info@spira.or.jp

相談のお金は  
**¥0** かかりません  
秘密を守ります!  
Free & Confidential!



SPIRA が運営する 佐賀県の外国人相談窓口

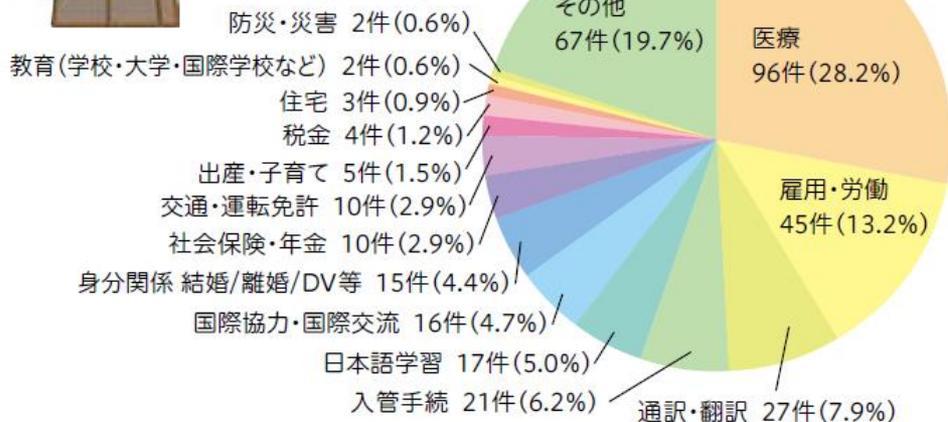
何でも聞いてください

**Consultation Service** for Foreign Residents of Saga Prefecture

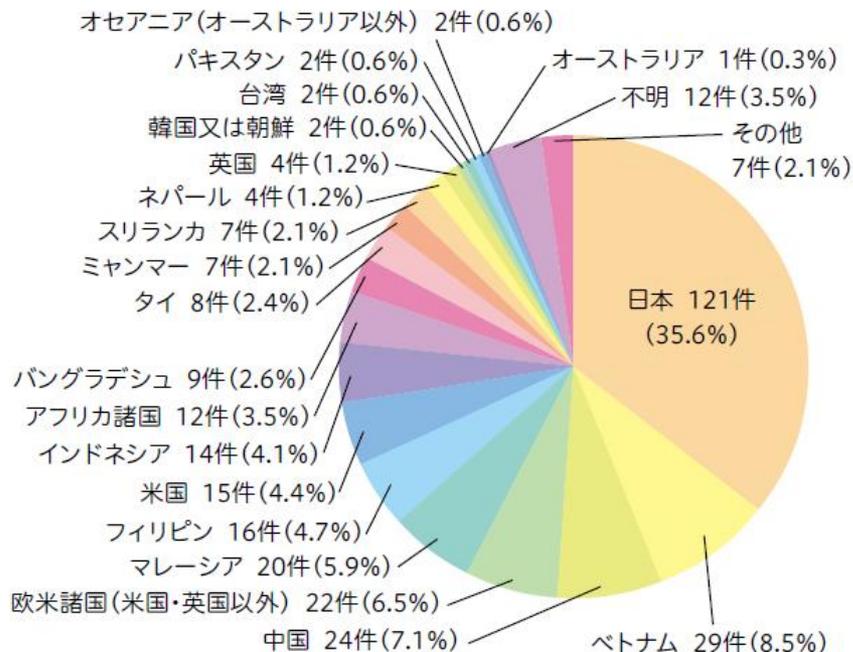
さが多文化共生センター  
Center for Multicultural Society in Saga

## 2021年度 相談の件数 延べ 340件

### 相談内容のカテゴリー別内訳



### 相談者国籍別内訳



### 対面相談実施曜日

月	火	水	木	金
やさしい日本語	やさしい日本語	やさしい日本語	やさしい日本語	やさしい日本語
ベトナム語	ベトナム語	ベトナム語	ベトナム語	
	中国語	英語	韓国語	

その他の言語については多言語通訳コールセンターや翻訳機（ポケトーク）を利用して対応

※ 2022年度は、ウクライナ避難民受入れもあり、相談件数が3倍弱に！

# 外国人労働者の相談アクセス



# さが多文化共生センターの連携先



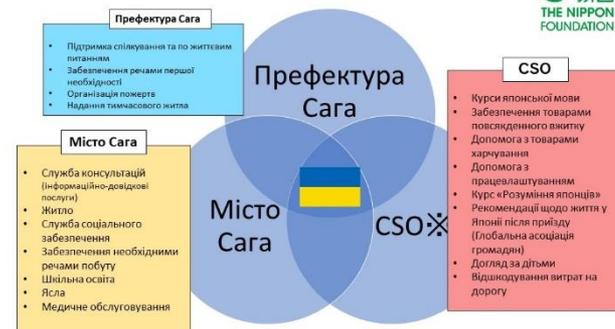
# ウクライナ避難民受入れ（2022.4月～）

Saga Ukeire Networkで、これまでウクライナから  
14家族、31名を受け入れ

生活支援を中心にほぼ全過程にかかわる

- 70家族以上のオンライン面談
- ビザ取得のサポート
- チケット手配
- 県東京事務所の成田トランジットサポート
- 佐賀空港出迎え
- 県職員宿舎の受け入れ準備
- オリエンテーション
- 入管・市役所、銀行口座等のサポート
- 日本語教育支援（8回シリーズの日本語受講義務付け＋地域日本語教室）
- 幼稚園、小学校、中学校、高校への就学支援・子ども日本語学習サポーター
- 病院付き添い
- 就職支援等（ハローワークへの繋ぎ等）

【Схема прийняття українців до Японії, префектура Сага】



※CSO=громадська соціальна організація

Supported by  
日本財団  
THE NIPPON  
FOUNDATION

⇒ **相談体制の限界**

(相談員の支援、研修、相談員へのコーディネーター設置etc検討要)

# 外国人への生活支援の課題と対応方向

	課題	対応方向
生活相談体制 (さが多文化共生センター)	<u>相談体制（2人相談員）の限界</u>  ・ 相談量の増大  ・ 相談内容の多様化、困難事案の増加)	○専門機関との連携強化  ・ 県弁護士会、県行政書士会、県社会福祉協議会、フードバンク等との協定締結 ・ 入管との定期相談会の実施、CINGA等への相談  ○相談員サポートに向けて新たに、コーディネーターの設置を検討
ウクライナ避難民生活支援	<u>緊急避難受入れから定住に向けたサポートへの切り替えの検討</u>  →日本語教育機会の不足	○日本語教育支援の拡充 →就労・就学支援へ

# Free Your Heart of Borders!



2022.12.3 佐賀県国際交流協会 SPIRA